



イタリア共和国旅行記

『ローマで休日、憧れのジェラートと世界遺産』

2019年10月24日から29日

ローマの休日に憧れて

若いころに観た映画『ローマの休日』に憧れ長年の夢を叶えたいと念願のイタリアに行ってきました。

主演の新聞記者を演じる俳優グレゴリー・ペックと某国王女を演じる女優オードリー・ヘプバーン。皆さんご存知かと思います。私にとっては唯一無二の恋愛胸キュンなラブロマンスです。

旅先ではできる限り、現地の方（お店やレストランの方たち）とコミュニケーションをしたいとも思い、簡単な挨拶を覚えていきました。ホテルのフロントの方には



「ボーナセーラー（こんばんは）」
と言えば、折り返しの笑顔で返していただき小さくガツツ
ポーズ！。朝は「ボンジョール
ノ（おはようございます）」と
声掛けから始まります。

2日目 ピサ市

2日目からやっと観光になります。世界遺産『ピサの斜塔』を目指します。移動手段は『貸し切り観光バス』です。バス車窓からの眺めは、あちらこちら新鮮な景色で某テレビ局の『世界の車窓から』を思いだしました。



ピサに到着！。ピサのドゥオモ広場に現れたピサの斜塔。本当に傾いています！！

※文中のドゥオモとはイタリア各地の教会のことです。

ピサの斜塔は入場制限があるらしく（一度に入れる人数や時間の制限…倒れてはいけないため？？）私たちは運よく当日の予約入場ができることになりました。

そこで異国の厳重な警備を目の当たりにすることに…。入場口付近に小銃を持つ兵士達が立哨警備されています。やや緊張感を覚えつつ入場チェックを終え斜塔内部に入り螺旋階段を上り頂上へ。途中に『AED（自動体外式除細



10階東病棟師長
中溝 直子

動器）』が設置してあることに気づき、医療従事者として安堵するほど、上り階段がきつかったです（笑）。



3日目 ベネツィア

3日目は水の都と言われている『ベネツィア』です。世界各地から大勢の観光客が訪れていました。

ドゥカーレ宮殿、サンマルコ広場、サンマルコ寺院などを散策し、ゴンドラ遊覧船（船頭1名、客が5名ほど）で『ためいき橋』をはじめ、運河水路からのベネツィアの街並みを楽しみました。



サンマルコ広場では近年の温暖化の影響か、高潮で浸水が起こる頻度が多くなっているらしく、石畳の広場には浸水時に対応するための高さ約70cmと思われる渡し板がたくさん並んでありました。

お買い物では『ベネツィアンガラス』を手にしたくて、お店の方に「ディスコント、ペルファボーレ（値引きしてくれませんか）」とコミュニケーション？？通じたのか？（笑）100ユーロから80ユーロにまでくださいました。ここでも「グラッセ（ありがとう）」。

レストランでは若いスタッフさんと写真をお願いするなど、旅行中では一番積極的に声掛けして人と接して楽しんだベネツィアでしたからこそ、帰国後数週間してベネツィアの各地広場などが浸水しているニュースを知り、訪問した地で起こった被害にこころを痛めていました。



4日目 フィレンツェ、ローマ

4日目。さあ、いよいよフィレンツェ観光と憧れの地『ローマ』です。ホテルを出発し朝一番に向かったのは『ミケランジェロ広場』です。少し丘の上に位置する広場からはフィレンツェの街並みが一望できました。割と早い時間帯で人通りも少なくという



か、10月27日は日曜日でして、聞くところによると観光地を除き会社をはじめ個人商店など、運送業も休みのこと。

そしてフィレンツェ市内に入り各地を観光し、特に『ウフィツィ美術館』では名画『ヴィーナスの誕生』をはじめとした古代ギリシア、古代ローマの彫刻、メディチ家歴代の美術品の素晴らしさを堪能しました。

フィレンツェ観光を終え、ローマへ向かうのですが、ここまで感じたこと。街中や一般道、高速道路など、どこも絵になるような景色と、自家用車が思いのほか小さくて日本でいう小型乗用車が多かったです。その理由があるらしく、世界遺産世界一の国だから…。具体的には古代からの街並みが多く昔は車も走っていないため、車を停める場所もないのが当たり前で、そこに現代の産業産物『自動車』が増え、駐車場が少ないため路上駐車も多く、日本では考えられないくらいの隙間に無理やり駐車で、車のすり傷、当て傷や凹みなどほとんどの車についていました(汗)。



ローマには現地時間18時過ぎ(ややうす暗い)に着きました。ローマの歴史地区の散策観光です。

映画『ローマの休日』でキュンとしたスペイン広場、スペイン階段、トレビの泉が待っています。こちらも人気スポットというだけあって大勢の観光客。めげずに散策し添乗員おすすめの『ジェラート店』に行き、美味しいいただきました。本当はスペイン階段に腰かけて…との思いだったのですが、今年の7月からローマ市で美観を損なうなどの理由で飲食や座ることが禁止されたばかりでした。行く前から知っていたので気持ちの整理はしていたのですが、ヘブバーンと同じ場所で撮影できたのでよしと思わないといけませんね。



その後のレストランでは地元カンツオーネを聴きながらの夕食でした。透き通るような声、声量から伝わってくる情熱とイタリア人の陽気さと気質などを感じました。

5日目 ローマ市内とヴァチカン市国

そして5日目いよいよ観光最終日はローマ市内とヴァチカン市国。コロッセオは4階建てで収容人数は5万人！古代ローマ人の建築技術の素晴らしさに感動です。



旅のふりかえり

旅行中の天気に恵まれ、朝夕は少し肌寒いのですが昼間は長そで上着でちょうどよい感じ。半袖姿の人もちらほら。

食事からも異文化を感じました。ラザニア、イカ墨パスタ、キノコのフィットチーネ、ピザなど日本人の口に合うのではと思います。あ、もちろん美味しかったですよ！

数多くの世界遺産と調和した街並みはとても素晴らしく、現代の生活に違和感なく取り入れて生活している素朴でおしゃれなところに、イタリアの魅力を感じた旅でした。イタリアにグラツィエ！！

